



ひろせっ子だより

令和6年度 豊岡南小学校学校たより 第8号

令和6年11月14日発行

暦の上では冬を迎えました



朝夕はいくぶん冷えがあるものの、日中は穏やかな日差しと秋風が感じられます。寒暖の差も大きくなり始め、衣服の選択や調整が難しい時期ですが、子供たちが自分で判断し、適切な行動ができるよう必要に応じて声掛けをしていきます。



～ 会礼 校長の話 ～

ひろせっ子のみなさん、こんにちは。

今日は、10月の我が校の高学年の姿から感心したことをお話します。

5年生・6年生になると、先生や友達と泊まりがけで学ぶ機会があります。

5年生は「観音山宿泊体験学習」といって、写真のように、3日間、山の中で生活します。今年の1日目は、雨でしたが、かっぱを着て約2時間の森林ハイキングと観音山の木を使ってキーホルダー作り、2日目は、7時間かけて約10キロの山歩きと「キャンドルのつどい」。3日目は、自分たちで火おこしに挑戦し、飯盒炊さんといっ



5年生 ^{かん のん やま} 観音山

て、木をくべてご飯を炊き、カレーと一緒に食べました。長い時間の山歩きは、かなりきつかったと思いますが、弱音も言わず、みんな大変よく頑張りました。途中、「がんばれ」「ここは危ないから気を付けて」など、友達を励ましたり、気遣ったりする声がたくさん聞かれ、5年生の優しさを感じました。自然のよさを体中で味わい、たくさんの感動と感謝の気持ちを抱いた3日間でした。

中でも、私が1番驚いたのは、夜の「班長会」での出来事でした。班長会のスタート時刻5分前に、私が食堂に入っていくと、既に班長が全員集まっていて、何やら話し合っているのです。聞いてみると、「1日目の班長会でやったように、自分たちでよかったことや悪かったことを記録しながら、話し合っていました。」と言うのです。とてもびっくりしました。先生がいなくても、「自分(たち)で考えて動く」ことができ、すばらしいなと感心しました。



5年生

班長会

班長会の内容を部屋で説明

次は、6年生です。6年生は「修学旅行」といって、写真のように、東京方面にバスで出かけ、ディズニーランドや政治の中心である国会議事堂や333メートルもある東京タワーなどを見学しながら、新たな知識を広げ、社会のルールや集団行動について学びました。



6年生 ^{しゅうがく りょこう} 修学旅行

6年生についても、感心したことがたくさんあります。

どの場でも集合時刻より前にきちんと集合し、見学地で係の方の話をよく聞いて、マナーを守って見学できていたことです。5年生と同じく、友達に対する言葉かけやかかわりが温かく、「ここ、座りなよ」「こっちへおいで」と声をかけたり、人混みではぐれて迷子になった友達を必死に探したりする姿が見られました。

「三方よし（自分よし・相手よし・みんなよし）」という言葉がありますが、「自分が楽しければよし」ではなく、グループや学級・学年全体、もっと言えば、見学地にいる他のお客様や道路を歩く時の周りの人のことなど、広く見渡し「みんなよしかな？」と考えて、2日間を過ごすことができていました。

中でも、夜のディズニーランドでプロジェクションマッピングが始まり、規制がかかって通れなくなったため、約束していた集合時刻に集まることができなくなるというトラブルが発生した時、それぞれ自分たちでなんとかしようと考え、ディズニーランドの係員（キャスト）にトラブルについて相談した人もいて感心しました。これも、「自分（たち）で考えて動く」姿です。



5年生・6年生のこうした姿は、その場で突然できることではありません。毎日の学校生活の中でつくられていくのです。

5、6年生の教室をのぞいて見ると…

【5年生】時間に間に合うように朝の支度を済ませ、どんどん朝読書を始めていました。

時計は、8時13分。朝読書のスタート時刻の8時15分より前から、席について読み始めていました。先生がいなくても自分たちで読書を始めていました。

【6年生】国語の時間、自分のペースでどんどん声を出して本読みをしたり、自分の考えを伝え合ったりしています。机を真ん中に向け合って、お互いの考えをしっかりと聞き、深め合っています。



こうした毎日の積み重ねが、観音山や修学旅行での素晴らしい姿につながっているのです。

ひろせつ子が目指している「えがおの花」「考える花」「きたえる花」の「3つの花は、1日では成らず。」つまり、**1日では、花を咲かすところまでいかず、毎日の積み重ねが大切**ということです。

そのために、今日紹介した5年生・6年生のように、1日1日の授業や学校生活の中で、**自分で考え、判断し、「自分から一歩」の前向きな気持ちをもって**、2学期後半も乗り切っていきましょう。



平和記念式典に参加した児童が、原爆地広島へ行って学んだことを紹介します。

- ・実際に原爆の話を見たり聞いたり、学ぶことによって、私の想像をはるかに超える悲惨な状況だったことがわかりました。
- ・平和記念資料館では、さまざまな写真や展示物を見て、心がしめつけられ、見るのが辛く、顔をそむけたくなる時もあり、それほど原爆というものがおそろしいものだと感じました。こんなことが本当に起こっていたと思うと、苦しい思いになりました。
- ・平和記念式典で、児童代表を務めた6年生が言った「違いをよさととらえ、自分の考えを見直すこと。私たちにもできる平和への一歩です」…この言葉が印象深かったです。一人一人が違いをよさととらえるように心がければ、差別やけんかが減るのではないかと強く感じました。
- ・私たち、こどもにできることは、ないのではないかと思うかもしれませんが、でも、まず原爆の悲惨さについて知ること、友達や家族と話すこと、そして広島や長崎で起こった悲劇を決して忘れず、平和について考え続けることが、平和な世界に少しでも近づいていくのではないかと思います。



みなさんも一緒に学び、考えていきましょう！

アルミ缶回収に御協力をお願いします

10月6日（金）に行われた「PTA運営委員会」で、今後、児童数減少に伴うPTA会費の減少も予想される中、年間2回の資源回収だけでなく、普段から親子でできることはないか話し合いました。

その結果、「アルミ缶の回収」が、親子で取り組める手軽なものであること、環境に対する子供たちの関心も高まることも考え、12月6日（金）に開催予定の参観会・懇談会から行ってみることとしました。

～ P T A会長からのメッセージです ～

日頃より、PTA活動に御理解と御協力いただきまして、ありがとうございます。

先日、学校から配付された「参観会の案内」でもお伝えしましたが、PTA本部役員・運営委員から、アルミ缶回収のお願いです。

「無理のない範囲で児童・学校のためにもっと何か出来ないか？」と考えていたところ、「保護者が来校時の“ついでに”アルミ缶を持って来る」という活動を、他校が行っていると知りました。

そこで、試験的に12月6日の参観会から、アルミ缶の回収を行います。今後は、保護者が来校する学校行事に行う予定です。

子供たちのリサイクル意識向上の為に、ゆくゆくは児童・保護者・地域の方関係なく、いつでも回収出来る体制を作りたいと考えています。

保護者の方の御理解と御協力をよろしくお願いします。

なお、持ってくる際は…

- ・子供に持たせても大丈夫です。安全のため、両手がふさがらないよう御配慮ください。
- ・アルミ缶の回収ボックスは、児童昇降口付近に設置します。
- ・アルミ缶は洗って、つぶして御持参くださるようお願いいたします。

<コミュニティ・スクール コーディネーターから>

日頃より、学校応援団への御理解と御協力を本当にありがとうございます。

2学期前半に行われた「STUDYサポート」の活動に御協力いただいた保護者の皆様、お忙しいところ、ありがとうございました。ほかにも「地域環境整備」「声掛け」では、地域の皆様にも多くの御協力をいただきましたことにも感謝いたします。

先日、私は磐田市内のコミュニティ・スクールの担当者研修会に出席しました。他校のCSCと情報交換をしましたが、本校は磐田市の中でも「学校・家庭・地域」が互いに連携し、取り組んでいるすばらしい学校であることを実感しました。



今年度は、新しい試みでボランティアの案内をコドモンで配信し、Google フォームにて申請するようにしています。このことで、参加の申込が直前まで受付可能となり、より多くの皆様に参加できるようにしました。とはいえ、まだ慣れないこともあり、なにかと御不便をお掛けして申し訳ありません。今後も保護者・地域の皆様の声を取り入れた運営に努めていきます。今後も御協力をどうぞよろしくお願いいたします。



コロナ禍を経て、世の中はあっという間に変化が激しさを増しています。学校でもタブレット端末をはじめ、私たち保護者世代が受けてきた教育とはまるで違うことが起きています。

しかしどんな時代でも、**私たち大人が子供たちをサポートしていくあたかな気持ちは変わらないと思います。先生方をはじめ、保護者・地域の方が手を携え、子供たちの成長に携わっていただけることを願っています。サポートがきっかけで、さらに視野が広くなり新たな発見があるかもしれません。ぜひ、子育て時代を一緒に楽しんでいきませんか。**

ただいま「2学期後半のSTUDYサポート」を募集しています。今年度まだ参加されていない方、迷われている方、ぜひ御参加をお待ちしています。

ペーパーレス化を推進します

磐田市では10月に開催された「DX推進本部会議」において、令和10年度用の紙購入量を、令和4年度比10%削減を目標に掲げるとともに、「磐田市ペーパーレス化アクションプラン」を策定し、取組を強化していくことになりました。

現在、**教育部（小学校・中学校・事務局）の印刷用紙購入量は、全庁のうち50%を占めている**ため、ペーパーレス化をより加速する必要が求められています。

また、教育部の令和7年度要求予算の用紙代を30%カットするとの連絡がありました。

学校ではこれを受け、現在「コドモン（電子媒体）で配信しているもの」「紙媒体で配付しているもの」を今一度見直しました。**今後はより一層のペーパーレス化を推進するため、原則として「コドモンでの配信またはHP（ホームページ）を通してのお知らせ」とするようにします。（保護者の皆様はコドモンでの未読がないよう、通知機能が「オン」になっているか、改めて御確認をお願いします）**

紙媒体で配付するものについては、保護者からの提出・回答等が必要なものなど、真に必要なものに限るようにするため、今後も検討していきます。

「コドモン配信」「紙媒体配付」を別紙のとおり行っていきます。よろしくお願いいたします。

